

環境県民局 資料	No. 4
-------------	-------

令和8年9月17日
課名 環境県民局文化芸術課
担当者 課長 山中
内線 2718

特別展「没後 30 年 菅井汲」の開催について

1 要旨・目的

広島県立美術館において、令和8年10月2日（金）から令和8年12月6日（日）までの間、特別展「没後 30 年 菅井汲」を開催する。

2 現状・背景

広島県立美術館において、多様な美術鑑賞の機会を提供している中、今回は、広島にゆかりがあり、鮮やかな色彩と幾何学的な抽象表現で知られた画家・菅井汲の没後 30 年を記念した回顧展を開催する。

3 概要

(1) 実施主体

菅井汲展実行委員会（広島県立美術館、(株) イズミテクノ）

(2) 実施期間（日時）

会 期：令和8年10月2日（金）～令和8年12月6日（日）（会期中無休）

開館時間：9時～17時

（10月2日は10時開場。金曜日は19時まで開館。入場は閉館30分前まで。）

(3) 実施内容

戦後パリを拠点に活躍した日本人画家・菅井汲の代表作のほか、彼の愛したポルシェや日常の品々等を合わせて約140点を展示する。今回、「日本初公開」の作品も展示され、菅井作品の変遷とその創作の秘密が明らかになる。

このほか、所蔵作品展では、「没後 30 年 菅井汲」に関連して、菅井をはじめとした前衛美術作品を展示する。（10月17日～1月17日）

4 予算（単県）

縮景園・美術館管理運営事業 75,910 千円（一部）

5 その他（関連情報等）

(1) 縮景園及び他美術館との連携

本展入館券の提示により、縮景園に100円で入園できる。

また、本展会期中、広島県立美術館、広島市現代美術館及びひろしま美術館の3館で特別展相互間の割引を実施する。

（特別展チケット（半券可）の提示で、当日料金を100円割引）

(2) 関連ホームページ

広島県立美術館ホームページ：<https://www.hpam.jp/museum/>

菅 井 汲

没後30年



30 Years After His Death

SUGAI KUMI



上:《Ma Voiture (PORSCHE) (私の車 ボルシェ)》(部分) 1975年 / 下:《準備完了》1968年 すべて広島県立美術館蔵

2026 10.2 fri. ▶▶▶▶▶ 12.6 sun. 会期中無休

【開館時間】9:00~17:00(金曜日は19:00まで開館) ※入場は閉館の30分前まで ※10月2日は10:00開場

【入場料】一般1,500円 / 高・大学生1,000円 / 小・中学生700円

◎会期中、本展チケットのご提示(半券可)により、100円で縮景園にご入園いただけます。

※前売・20名以上の団体は当日料金より200円引き ※学生券をご購入・ご入場の際は、学生証のご提示をお願いします。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。 ※前売券は、広島県立美術館、セブンチケット(セブン・コード:116-399)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部などで販売しています。

主催:広島県立美術館、イズミテクノ、テレビ新広島、中国新聞社 後援:中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかい76.1MHz 協賛:広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団



芸術文化振興基金



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

※開館情報等に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

<https://www.hpam.jp/museum>

20世紀に活躍した画家の中で、国際的に最も高く評価された日本人画家の一人と言われる菅井汲(1919-1996)。本展では、菅井がデザイナーとして働いた初期の作品から、パリで活動を始めたころのマチエール豊かな作品、そして無駄を取り除いた標識のような作品へと、作品を通して菅井の足跡を辿ります。中でも、木枠から外して保管されていた「日本初公開」の作品を展示した会場は、菅井の作品がどのように形作られていったのかをご覧ください初めての機会になるでしょう。また、菅井の表現にインスピレーションを与え続けた彼の愛車、1973年式のポルシェカレラRSも展示し、菅井が命がけで掴もうとしていた表現に迫ります。



《犬と魚と鳥》1953年
東京都現代美術館蔵



《朝のオートルート》1964年
東京国立近代美術館蔵



《Rouge de Cadmium 11.12(カドミウム・レッド11.12)》
1992年 広島県立美術館蔵



1970年代 愛車ポルシェの前で

SUGAI KUMI



《FESTIVAL DE TOKYO(フェスティバル・ド・トーキョー)》1969年 広島県立美術館蔵



《12気筒》1972年 京都国立近代美術館蔵

関連イベント

記念講演会

「今、菅井汲を見るために
——30年後の未来——」

10月3日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

講師:速水 豊(三重県立美術館館長)

会場:地階講堂 共催:広島県立美術館友の会

※聴講無料 ※要事前申込(電話082-221-6246)

美術講座

「菅井汲 創作の秘密」

10月24日(土) 13:30~14:30(開場13:00)

講師:角田 新(当館担当学芸員) 会場:地階講堂

※聴講無料 ※要事前申込(電話082-221-6246)

ワークショップ

「自然のものをを使ってモビールを作ろう」

菅井汲の初期作品に挑戦しよう!

11月1日(日) 10:30~12:00(受付10:00~)

講師:木村翔太(彫刻家) 会場:美術館・縮景園

参加費(材料費):500円 ※要本展入館券、入園券

※先着10名(小学生以上) 小学生は保護者同伴

※要事前申込(電話082-221-6246) ※刃物を使います。汚れてもよい服装で。

ギャラリートーク

10月16日(金)、11月6日(金)、11月20日(金) 各日11:00~、17:00~

会場:3階展示室 講師:当館学芸員 ※要入館券 ※事前申込不要

※11月20日17:00~は手話通訳付

(共催:アートと共生に関する調査および施策一体型プロジェクト)

インスタライブ

10月6日(火)、10月27日(火)

11月10日(火)、11月24日(火)

各日17:00~

講師:当館学芸員



公式Instagram

県美×現美×ひろ美 相互割引

本展の会期中、広島市現代美術館、ひろしま美術館で開催中の特別展チケット(半券可)を御提示いただくと、当日料金より100円引きで御鑑賞いただけます。詳しくは各館にお問い合わせください。
※1枚1名様限り ※その他の割引との併用はできません。



■アクセス ・JR広島駅より約1km ・広島城より約400m
・市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車約20m
・ひろしまめいぶる〜ぶ(広島駅新幹線口のりば発着、市内循環バス)
「県立美術館前」下車約80m



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

tel.082-221-6246 fax.082-223-1444

<https://www.hpam.jp/museum>